

♪ アメリカ独立戦争の原因

ヨーロッパでの(1)戦争(1756~63年)の戦費負担によりイギリス本国が財政難に見舞われると、植民地に対する課税と経済統制が強くなった。1765年に出された「印紙法」に対しては、「(2)なくして、(3)なし」をスローガンとする反対運動が起きた。1773年に制定された(4)は、その販売権を①イギリス東インド会社が独占するものだったため、(5)茶会事件が発生した。

問1 下線部①に関連して、イギリス東インド会社が設立されたのは西暦何年か、以下から選びなさい。

- A 1600年 B 1610年 C 1620年 D 1630年

♪ アメリカ独立戦争の経過

1775年、独立戦争が勃発すると、(1)が総司令官に就任した。翌1776年には、(2)が起草された。戦争が続くなかで、イギリスは国際的に孤立する。植民地側をフランスなど①ヨーロッパ諸国が援助したためである。1781年の(3)の戦いで植民地側の勝利が確定し、1783年の(4)条約でアメリカ合衆国の独立が承認された。独立後の1787年、合衆国憲法が制定され、立法・行政・司法の(5)が盛り込まれたほか、各州の権力と中央政府の権力が分立する(6)が採用された。

問1 下線部①に関連して、この時に結成された反イギリス諸国の同盟を何というか。

問2 問1の同盟を提唱した人物が治めた国はどこか、以下から選びなさい。

- A ドイツ B オーストリア C スペイン D ロシア